

水島 郁子

高等司法研究科・教授

[研究]

公益法人野村財団の研究助成を受けた共同研究の成果を、日本社会保障法学会第75回大会で報告予定であったが、コロナ禍で大会は中止となった。大会報告は行えなかったものの、研究成果を学会誌社会保障法において公表することができた。

日本労働法学会第137回大会の大シンポジウムの報告者グループの一員として、趣旨説明を行い、司会を担当した。科研費基盤(C)を獲得し、診療従事勤務医の働き方に関する研究を開始した。

[教育]

高等司法研究科において「労働法基礎」「労働法応用」「労働法演習」「社会保障法」を担当した。

法学研究科において学生5名の指導を行った。博士後期課程学生3名が阪大法学に論文を投稿した(1名は刊行済み、1名は掲載決定、1名は査読審査中)。博士後期課程学生1名は、研究助成(スミセイ女性研究者奨励賞)を受けて研究を進捗させ、日本学術振興会特別研究員の内定を得た。

[管理運営]

総長補佐(人事労務オフィス員)を務めた。

部局では、FD・教育企画委員会の委員長を務めている。

[社会貢献]

日本労働法学会理事であり、平成30年5月以降、学会誌編集委員長を務めている。

日本社会保障法学会理事であり、令和2年6月から、企画委員長を務めている。

第10期中央教育審議会大学分科会法科大学院等特別委員会の専門委員を務めた。

中央労働委員会地方調整委員(西日本区域委員長)、大阪地方労働審議会公益代表委員(会長)、大阪地方最低賃金審議会委員(会長代理)のほか、厚生労働省や豊中市等の依頼を受け、委員等を務めた。